

# 成果報告(ポスター)

2016年度助成

(助成期間：2017年1月1日～2018年12月31日)

<p>タイトル</p>	<p>「自ら学ぶ意欲を高め、科学的な思考力・表現力を育成する理科教育」 ～主体的・対話的で深い学びを目指す理科授業～</p>		
<p>所属機関</p>	<p>川崎市立中学校教育研究会理科部会</p>	<p>役職 代表者 連絡先</p>	<p>理科部会長 上杉 岳啓 044-822-2487</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>平成29年11月2日</p> <p>神奈川県公立中学校教育研究会理科部会 川崎地区研究大会</p>  </div> <div style="width: 50%;">  <p>授業で使える！おもしろ理科実験発行の歴史</p> </div> </div>			
<p>実践の目的：</p>	<p>川崎市立中学校教育研究会理科部会では研究テーマを「自ら学ぶ意欲を高め、科学的な思考力・表現力を育成する理科教育」～主体的・対話的で深い学びを目指す理科教育～として、4つの研究推進委員会がそれぞれの目標を立て、研究に取り組んできた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育課程：科学を探究する資質や能力と態度を育成する教育課程の編成</li> <li>○ 環境教育：理科を学ぶ有用性を高める授業</li> <li>○ 観察・実験：自ら学ぶ意欲を育て、感動を味わうことのできる教材の研究と発信</li> <li>○ 指導・評価：主体的・対話的に学ぶ楽しさ・わかる喜びを味わう学習の指導と評価</li> </ul> <p>各研究推進委員会の研究や授業実践により、生徒の科学的な思考力・表現力を高め、主体的・対話的で深い学びを目指す理科授業が川崎市全体で行われることをねらいとする。</p>		
<p>実践の内容：</p>	<p><b>教育課程研究推進委員会</b>では次に示す3つの視点で研究を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「小中高のつながりを意識した学びのストーリーの作成」</li> <li>②「2単位時間連続の授業」</li> <li>③「アクティブ・ラーニングを志向したICT利活用」</li> </ol> <p><b>指導・評価研究推進委員会</b>では次に示す3つの視点で授業を構想し、実践した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①指導（学習）の過程の検討</li> <li>②導入の工夫</li> <li>③生徒の考えの変容の見取り</li> </ol> <p><b>観察・実験研究推進委員会</b>では主に次に示す2つの実践を行い、研究を深めた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①研究授業や自主研修での観察実験会の設定</li> <li>②開発された教材や指導技術がすぐに手に入る環境をめざした情報発信</li> </ol> <p><b>環境教育研究推進委員会</b>では、主題に対する5つの授業実践を行い、研究を深めた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①電磁誘導と発電</li> <li>②分光</li> <li>③防音</li> <li>④植物のなかま分け</li> <li>⑥扇風機を回そう</li> </ol>		
<p>実践の成果とその訴求点：</p>	<p>さまざまな「学びのストーリー」について研究を深めることができた。小・中学校で学んだことが、高等学校での発展的な学習につながっていくことを理解させることで、科学を探究する資質や能力と態度をより育成できるようにしていきたい。(教育課程)</p> <p>今回提案した視点での授業の構想・事例を積み重ねることによって私たちの指導力の向上と生徒の資質・能力の向上につなげていきたい。(指導・評価)</p> <p>学び合いのシステムを生徒だけでなく教員間にも広げ、生徒とともに驚きや感動を味わうことができるように「教材開発」「情報発信」に力を尽くしたい。(観察・実験)</p> <p>環境教育の視点で身近な教材を活用し、理科の学習と日常生活や実社会と関連付けた授業を行い、生徒に実感のともなった理解を促し、理科を学び続けようとする意欲を喚起し、理科を学ぶ有用性を高めることができるよう全力を尽くしたい。(環境教育)</p>		